

## 第4回事例研究

「自治体現場の最前線に学ぶ」

# 市民が創る市民の志木市の実現に向けて!!

～志木市・地方自立計画～

1. 講師 志木市企画部政策審議室 主査 尾崎 誠一さん
2. 対象者 市町村職員で希望するもの 事例紹介：定員200名  
意見交換：20名程度  
事例紹介は講演会形式で行います。  
意見交換は事前申込み者を対象に、場所を移して実施します。
3. 実施日 平成15年10月31日(金) 事例紹介：午後2時～4時まで  
意見交換：午後4時～5時まで
4. 会場 (財)大阪府市町村振興協会マッセ OSAKA 5階  
事例紹介：映像研修広場  
意見交換：第3研修室
5. 内容  
埼玉県志木市では「市のオーナーは市民である」との考えのもと、地方自立計画を策定し、住民との協働によるまちづくりに着手されています。その中でもとりわけ「行政パートナー（市民公益活動団体：有償ボランティア）」の導入によって、現在の正規職員619人は2021年には301人となり、行政パートナー523人が市政業務を担い、最終の正規職員は50人以内の身の丈にあった効率的な自治体を目指しています。この自立計画の理念は「まち」を形成した原点である「村落共同体」を想起し、「市民が市を運営する」ことを原則として「21世紀型地方運営システム」への転換を図る狙いがあります。これらの延長線上には同市が地方自治解放特区に提案している、シティーマネージャー制度の導入（市町村長の廃止）付属機関等の廃止（教育委員会・農業委員会）など様々なアイデアで、自立する地方自治体の実現に向け取り組んでいます。今回の講演では、地方自立計画の骨格と具体的な取り組み、さらに目指すべき方向性について、改革の最前線からお話いただきます。
6. 申込み方法  
お申込みは各市町村研修担当課にお願いします。

(担当：マッセ O S A K A 研究課)